

平成25年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年10月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 山陽百貨店

コード番号 8257 URL <http://www.sanyo-dp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高野 勝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画統括部長 (氏名) 岩野 誠

TEL 079-223-1231

四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	9,669	1.6	149	4.4	156	8.3	89	99.7
24年2月期第2四半期	9,829	2.0	142	55.3	144	75.0	44	31.6

(注) 包括利益 25年2月期第2四半期 86百万円 (111.2%) 24年2月期第2四半期 41百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年2月期第2四半期	111.62	
24年2月期第2四半期	55.89	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第2四半期	13,125	1,010	7.7
24年2月期	13,756	923	6.7

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 1,010百万円 24年2月期 923百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年2月期				0.00	0.00
25年2月期					
25年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	19,943	1.9	345	3.6	338	4.5	231	13.4	288.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期2Q	810,000 株	24年2月期	810,000 株
期末自己株式数	25年2月期2Q	6,844 株	24年2月期	6,800 株
期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期2Q	803,179 株	24年2月期2Q	803,382 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、平成24年4月16日に公表いたしました平成25年2月期の業績予想を修正しております。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年3月1日～平成24年8月31日）における国内経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復をみせているものの、欧州財政について根強い不信感や電力供給問題など不安要素が散見し、景気は依然として不透明なまま推移いたしました。

百貨店業界におきましては、東北・仙台地区で復興需要が一段落したことや、また期中後半からは高級時計や宝飾品等の高額商材において前年大きく伸ばした反動がみえ始めたことにより、全般的に厳しい商況となりました。

このような状況のなか、当社グループは、中期経営計画（平成23年度～平成25年度）のビジョンである「日本一生き生きとした百貨店」の実現に向け、引き続き、魅力ある店舗づくりに取り組みました。

具体的な営業施策といたしましては、食料品フロアにおいてグロスアリーを中心としたセルフ方式の売場Sマートをリニューアルいたしました。集客面では全国各地の人気食品を取りそろえた「日本列島絶品うまいもの大会」や絵画・書から彫刻及び陶芸といった総合的な芸術展である「大藪雅孝展」など話題性のある催事を開催し、また、夏の恒例となった屋上ビアガーデンでは例年以上に多くのお客様からご支持をいただきました。

一方、経費面では、節電対策を含めてあらゆる費用項目について、引き続き強い姿勢で圧縮、削減に努めるとともに、効率的な経費執行に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は9,669百万円（前年同期比1.6%減）となりましたが、連結営業利益は149百万円（前年同期比4.4%増）、連結経常利益は156百万円（前年同期比8.3%増）、連結四半期純利益は89百万円（前年同期比99.7%増）となりました。

セグメントの業績については、当社グループは、百貨店業の単一セグメントのため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ631百万円減少し、13,125百万円となりました。これは主に、借入金の返済による現金及び預金の541百万円減少、有形固定資産の133百万円減少などによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ718百万円減少し、12,114百万円となりました。これは主に、返済による借入金の895百万円減少などによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ86百万円増加し、1,010百万円となりました。これは主に、四半期純利益による利益剰余金の増加89百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ541百万円減少し、1,000百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は403百万円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益153百万円、減価償却費142百万円、仕入債務の増加53百万円、前受金の増加84百万円によるものであり、前年同四半期連結累計期間に比べ34百万円収入増となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は50百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出47百万円によるものであります。また、前年同四半期連結累計期間は102百万円の獲得でありました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は895百万円となりました。これは主として、短期借入金の純減140百万円、長期借入金の返済755百万円の支払があったこと等によるものであり、前年同四半期連結累計期間に比べ204百万円支出減となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

本日公表の「平成25年2月期 第2四半期累計期間における業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」において、平成24年4月16日付「平成24年2月期決算短信」において公表いたしました平成25年2月期の業績予想を修正いたしましたのでご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,542,383	1,000,676
受取手形及び売掛金	652,904	672,911
有価証券	699,556	699,907
商品	943,427	943,692
貯蔵品	31,325	28,559
繰延税金資産	19,294	19,305
その他	135,761	168,033
貸倒引当金	△66	△70
流動資産合計	4,024,586	3,533,016
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,088,615	3,986,550
土地	4,724,521	4,724,084
その他(純額)	175,097	143,637
有形固定資産合計	8,988,233	8,854,272
無形固定資産	120,617	120,052
投資その他の資産		
投資有価証券	80,696	79,094
繰延税金資産	10,945	10,945
差入保証金	467,828	467,298
その他	79,605	76,333
貸倒引当金	△15,912	△15,833
投資その他の資産合計	623,164	617,840
固定資産合計	9,732,015	9,592,165
資産合計	13,756,602	13,125,181
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,887,319	1,940,965
短期借入金	2,730,188	2,550,192
未払法人税等	115,470	69,073
商品券	1,513,795	1,627,255
前受金	1,984,158	2,068,710
賞与引当金	14,937	17,363
商品券回収損引当金	282,900	284,400
その他	544,385	488,165
流動負債合計	9,073,157	9,046,124
固定負債		
長期借入金	3,262,548	2,547,451
退職給付引当金	221,061	245,628
繰延税金負債	5,648	4,040
その他	270,324	271,373
固定負債合計	3,759,582	3,068,494
負債合計	12,832,739	12,114,618

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	405,000	405,000
資本剰余金	7,554	7,554
利益剰余金	515,852	605,504
自己株式	△14,762	△14,814
株主資本合計	913,645	1,003,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,217	7,317
その他の包括利益累計額合計	10,217	7,317
純資産合計	923,862	1,010,562
負債純資産合計	13,756,602	13,125,181

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	9,829,857	9,669,898
売上原価	7,660,202	7,556,086
売上総利益	2,169,655	2,113,812
販売費及び一般管理費	2,026,851	1,964,672
営業利益	142,803	149,140
営業外収益		
受取利息	1,667	570
受取配当金	2,189	1,753
受取家賃	17,478	19,237
債務勘定整理益	71,717	69,777
その他	32,204	28,976
営業外収益合計	125,257	120,314
営業外費用		
支払利息	71,658	55,958
商品券回収損引当金繰入額	48,823	49,621
その他	2,889	7,130
営業外費用合計	123,371	112,710
経常利益	144,689	156,744
特別利益		
固定資産受贈益	1,758	—
投資有価証券売却益	5,650	—
特別利益合計	7,408	—
特別損失		
固定資産除却損	9,370	2,990
減損損失	—	436
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27,369	—
特別損失合計	36,740	3,426
税金等調整前四半期純利益	115,357	153,317
法人税等	70,455	63,666
少数株主損益調整前四半期純利益	44,901	89,651
少数株主利益	—	—
四半期純利益	44,901	89,651

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	44,901	89,651
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△3,820	△2,899
その他の包括利益合計	△3,820	△2,899
四半期包括利益	41,081	86,751
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,081	86,751
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	115,357	153,317
減価償却費	153,601	142,528
減損損失	—	436
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,636	△75
賞与引当金の増減額 (△は減少)	202	2,426
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△427,017	24,567
商品券回収損引当金の増減額 (△は減少)	△2,200	1,500
受取利息及び受取配当金	△3,857	△2,323
支払利息	71,658	55,958
投資有価証券売却損益 (△は益)	△5,650	—
固定資産受贈益	△1,758	—
固定資産除却損	4,622	281
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27,369	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△27,050	△20,007
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△229	2,501
差入保証金の増減額 (△は増加)	2,300	530
仕入債務の増減額 (△は減少)	13,213	53,645
前受金の増減額 (△は減少)	59,709	84,551
未払金の増減額 (△は減少)	112,550	△36,788
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△19,067	△16,440
その他	370,029	121,871
小計	442,145	568,481
利息及び配当金の受取額	4,673	1,945
利息の支払額	△73,526	△56,943
法人税等の支払額	△4,116	△109,817
営業活動によるキャッシュ・フロー	369,177	403,666
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,321	△47,613
有形固定資産の売却による収入	114,400	—
無形固定資産の取得による支出	△980	—
投資有価証券の取得による支出	△2,548	△2,709
投資有価証券の売却による収入	5,850	—
その他	92	95
投資活動によるキャッシュ・フロー	102,492	△50,227
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△140,000	△140,000
長期借入金の返済による支出	△920,090	△755,093
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△39,314	—
その他	△1	△51
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,099,406	△895,145
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△627,737	△541,707
現金及び現金同等物の期首残高	1,716,587	1,542,383
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,088,850	1,000,676

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

当社グループは、百貨店業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。